

<最終回>

200H5024

ミスター バーンズ RC



ホルスタインジャーナル 2011年3月号

当牧場で搾り始めた娘牛の中にハナリーB デルタ(VG-86-2y)がいて GLPI +2119 でカナダ 3 位のミスターバーズの赤白斑娘牛である。彼女には沢山の受精卵の契約があり、2 歳級の予測記録は 11929kgM 3.9%F 3.2%P(316-328-308)でハンクの父ゲリーと共有している。彼女の母は EX-93 のセプテンバーストームの娘である。同じく既に数多くの受精卵を成約しているのはカナダの育成牛中 GPA LPI ナンバーワンのミスターバーズの娘、ハナリー チェリー バーンズである。彼女は 2009 年 9 月生まれで GPA LPI +2561 を持ち VG-86 の母はボルトンの娘で 9 代 VG か EX のグレンドラモンド スプレnder(VG-86-34*)の一族である。

ハンクの弟、ジョン ヘイゼレガーも彼のヘイゼレガーレスト牧場 (オンタリオ州エンプロ) でミスターバーズを受精卵の父や交配種雄牛として使った。彼の家族が経営する当牧場でもミスターバーズの VG2 歳級を 3 頭所有している。受精卵の需要の多いのがヘイゼルレスト バーンズ ロクサンヌ(VG-86-2y)で 8 代 VG か EX の系統で母はジョンと息子のマークとの共同所有になるシティービュー ジョーダン ルビー(VG-85)である。GLPI 26 位にいるこの赤白牛は GLPI +1834 で初産予測乳量は 12759kgM 4.2%F 3.2%P(313-355-307)だ。



ヘイゼルレスト バーンズ ロクサンヌ VG86-2YR

ミスターバーンズの娘たちはショーの世界でも馴染みの牛で最近では数か国で上位入賞の榮譽に輝いている。4代 VG か EX の流れを汲むシルモ ミスターバーンズ レインボー(VG-87-2y)は昨年のロイヤル ウィンター フェア ナショナル R&W ショーとエキスポ インタナショナル ケベック R&W ショーでジュニア 2 歳級のチャンピオンになった。ウイソコンシン州マディソンの 2010 年ワールド デイリー エキスポに於いて 2 つの搾乳牛クラスでの勝者は米国人が繁殖、所有するミスターバーンズの娘



スイートピーズ フェリシティー レッド VG89

である。スイートピーズ フェリシティー レッド-ET(VG-89-USA)がジュニア 2 歳級で、シーニックエッジ Mrb ジョリン レッド(VG-86-USA) がイヤリング搾乳クラスでの勝者である。2 頭とも現在赤白牛のオールアメリカンにノミネートされている。

今日最も需要の高いミスターバーンズ娘牛の中の 1 頭はレイニーリッジ ミスターバーンズ エアラ(VG-87-2y)である。複数の人が共同所有するこの赤因子牛は GLPI +2536 でカナダ 2 位のミスターバーンズの娘である。6 代 VG か EX の系統を持つエアラは輝かしい賞歴を持ち 1999 年のカウオブザ イヤーになったレイニーリッジ トニー ビューティ(EX-5E-9*)を先祖に持つ VG-89 のショトルの娘から産出された。所有者の一人、オプティマル デイリーのステーブン ボアチャーズはミスターバーンズが世に出てきた時に父と一緒に集中的に使ったと言っている。彼らは既にリーダーを使って大成功を収めておりその子サンダーの唯一の有名息牛であるミスターバーンズに系統的に強く引かれるものがあつた。『“ミスターバーンズは自分の牛群に大変良い組み合わせで娘たちは背が高く深い肋腹と優れた四肢を持ち蛋白率が高い。勿論、赤因子も大いに魅力であつた。”』とボアチャーズ氏は言う。



エルムブリッジ ミスターバーンズ ライブリー
VG87-2YR

エアラは市場性の面から言って必要な全ての条件を兼ね備えた極めてユニークな牛であると彼は付け加える。彼女は 3 年連続でオールウエスターンの榮譽にノミネートされ 2008 年にはオール

ウエスターンのジュニア カーフ (育成牛) に選ばれた。2010年には2歳ジュニア級でランドマーク フィーズ サマー クラシックで1位となりその後は受精卵の生産に専念するためショーを諦めた。この乳期彼女の予測乳量は10838kgM 4.4%F 3.3%P(278-331-287)である。ゲノム指数の高さ、高能力、近代的な血統、赤因子がエアラのヨーロッパ諸国での人気を高めている。これまで彼女の受精卵のほとんどはドイツへ輸出されそれらの父親としてはウィンドブルック、ローソリティー、ジェラード、ジョーダン等が含まれる。当牧場にはデストリーの娘が生まれていてこの春に生まれるものにジェラードとジョーダンの子がいる。彼女のオーナーは未だ沢山の未完了の受精卵契約を持っているがここで一度種付けする予定である。

“エアラ程大量の受精卵の引き合いが来る牛は他に居ない。本当に圧倒的な人気だった。”とボアチャーズ氏。彼らはもうミスターバーンズの精液は交配プログラムで使っていないが彼の息牛でゲノムテスト指数の高いウイルスプロ ラーソンーET アードロス スターリングやドリームプレイヤー ブレイカーET等を使っている。

今日までカナダの公開オークションで売られたミスターバーンズ娘牛の中で最高価格はケベックでの2010ルックアウト サマー センセーション セールで\$78,000 を付けたリーガンクレスト MB ブリーイェル-ET(VG-87-2y)である。米国産のこの2歳級はVGかEXの系統の8代目に当たりその販売時にはかの有名なレーガンクレスト PR バービー-ET(EX-92-USA-DOM-GMD-1*)ファミリーの唯一の赤因子キャリアーであった。ケベック州キャントン デ ハットレイのルックアウト ホルスタインズとアルゼンチンのマリタ インターナショナルと英国のロバート サンダーソンの共有となるブリーイェルには305日で12660kgM 3.1%F 3.0%P(312-259-298)の記録がある。彼女の息牛でデストリーを父に持つ2010年3月生まれの子がシーメックス アライアンスで検定中でGPA LPI +2106の指数を持つ。また娘達も数多くオークションに委託されている。



レーガンクレスト MB ブレオーナ VG89

.....

シーメックス アライアンスでは66頭のミスターバーンズの息牛を検定中でそのうちの15頭は赤白斑である。一番速いグループは2012年の夏に最初のプルーフが出る。ピエール ラリベルテによると GPA LPI +2000、体系+12以上が沢山いてそのうち GPA LPI +2000 のレッドキャリアーが11頭いる。

何頭が好成績で一線級に戻って来るかは時間の経過を待たねばならないがブリーダー達が既に注目している息牛が何頭かいる。ウイルスプロ ラーソン ET が現在結構人気がある。彼の GPA LPI は +2733 でタイプは +14 である。この英国産のレッドキャリアーは 2 度オールカナディアンに輝いたダーハムの娘、ライルヘブン ライラ Z (EX-94-8*) の孫息子になる。

アードロス スターリングはシーメックスから 2 年間精液が入手可能であったがその娘たちは昨年の赤白牛ショーで活躍した。GPA LPI +2292 タイプ+13 を持つこの雄はスペンダー ファミリーとショトルで産出された元 No. 1 LPI カウのミスティ スプリングズ ショトル シルク (VG-88) の息牛である。

ミスターバーンズは現在 8 歳になるが益々その活力は盛んである。世界 40 ヶ国に 30 万本の精液が販売された。ピエール ラリベルデが言うように “今日のゴールドウインやオーマンやショトルで占められたホルスタイン遺伝子の世界ではミスターバーンズは極めて異なる血液でありバランス良い高能力としっかりした体型の遺伝子として有益である。それに加えて赤因子キャリアーが多くの生産者にとって彼らの繁殖計画においてミスターバーンズを魅力あらしめている。”



ミスター バーンズ本牛 VG85-5YR

**SEMEX WORKS
EVERYWHERE**